

大学院大学における社会健康医学研究

1 概要

静岡県は、平成 28 年 4 月、京都大学高等研究院副院長・特別教授の本庶佑氏を委員長とする「『社会健康医学』基本構想検討委員会」を設置し、平成 29 年 2 月、①「研究」②「人材育成」③「拠点」④「成果の還元」の 4 つを今後取り組むべき項目とする、「静岡県の健康寿命の延伸に向けた提言」を受けた。

これを受け、健康寿命の更なる延伸に向けた施策を推進する「社会健康医学研究推進基本計画」を平成 30 年 3 月に策定し、「医療ビッグデータの活用」、「疫学研究」、「ゲノムコホート研究」の 3 つを研究テーマとする社会健康医学研究に着手するとともに、将来的に大学院大学を設置することとした。

平成 30 年度からは同計画に基づき、県による委託事業として、静岡県立総合病院リサーチサポートセンターにおいて、優れた研究者を全国から招聘し、社会健康医学研究に先行して着手している。

2 先行して実施している研究の内容

| 研究分野 | 主な取組状況 |
|----------|--|
| 医療ビッグデータ | <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険のデータを組み合わせた約 220 万人分の KDB データの解析を進めている。 ・データ解析により、特定の疾病に至るリスクを数値で示す保健指導支援ツールを開発し、モデル市での保健指導に活用した。 |
| 疫学 | <ul style="list-style-type: none"> ・葉ごと粉状にした緑茶を習慣的に飲用することが、血圧や心機能にどのような影響を与えるかについて、中長期的に観察している。 ・人工内耳を装着した難聴児の言語発達の状況について、中長期的に観察している。 |
| ゲノムコホート | <ul style="list-style-type: none"> ・健常者を対象に、ゲノム（遺伝子情報）を含めた、長期の観察を行う地域コホート事業について、対象地区や実施規模、検査項目等の詳細について、制度設計を検討している。 |